

島本町の人口増加率と未来について

2019/1/23 T. Koto

本レポートでは

- 島本町のこれまでの人口増減のパターンはどのようなものであったか
- JR 島本駅西側開発で予測される人口増はどの程度なのか
- 人口増減に対して島本町はどのような施策を行う必要があるのか、町の見解の紹介を記述しています。

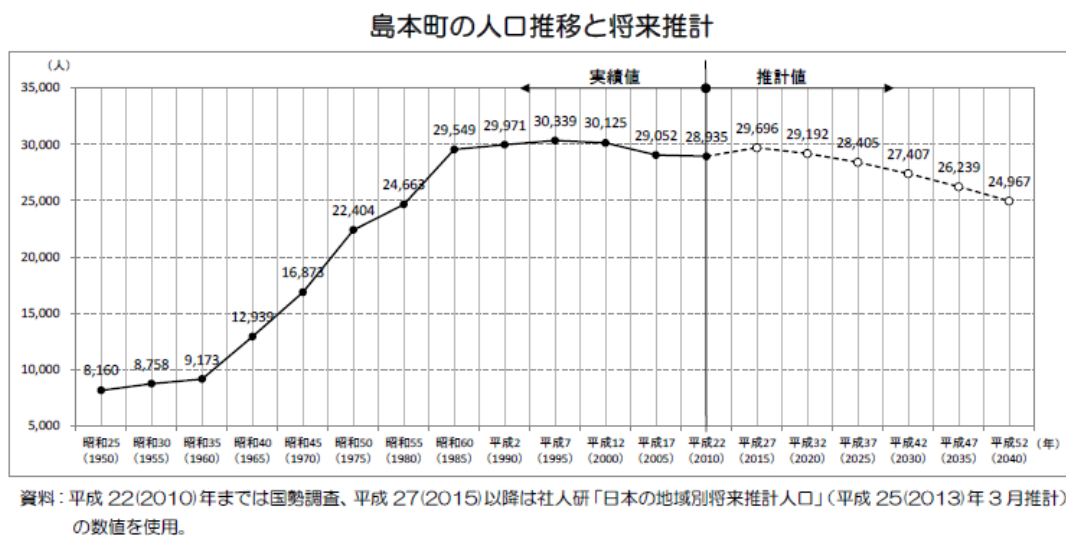


図 1：“島本町人口ビジョン”（2016 年 3 月）より引用（5 年ごとの値であることに注意）

図 1 は昭和 25 年からの島本町の人口と将来推計ですがこれは JR 島本西地区や現在のマンション開発は含まれていません。

2019 より新築 4 マンション+戸建てで 1680 人増加を仮定（戸数 794）し、また「島本町保育加速化方針」（2018/11）より JR 島本西地区販売開始 2023 年、想定移住最大 1575 人（町外からの転居）が西暦 2028 年まで 315 人毎年増えると仮定すると人口は図 2 のようになります（町によると町内移動が 3 割あると見込んでいるためそれを除いた数字で計算しています）。（図 1 と比較する場合、1 年ごとのグラフになっていることに注意）

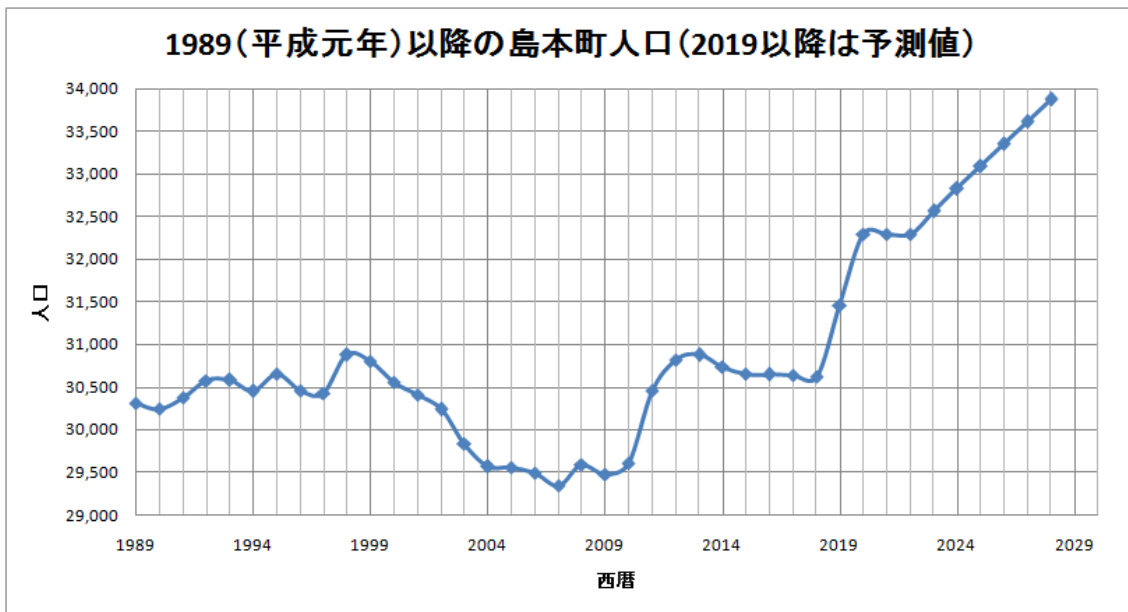


図 2

第 4 次総合基本計画（平成 23 年（2011）作成、目標年次 2019）では目標人口 32,000 人ですが、新築マンション群の開発により達成される可能性がきわめて高いです。その後西地区開発によって 33,872 人になります。人口が短期間に 1575 人も増えるということは、図 1 の高度成長期あたりの人口の伸びと比較しても大したものというのがわかると思います。

図 3 が 1940 年以降の前年比人口増加率です。1980 あたりまでは総人口（分母）が少ないということに留意する必要があります。宅地開発をするたびに増加率が如実に高まるのがわかります。近い将来、分母 32000 において年率 0.8%で人口増加していくというのは（5 年で 4.0%ぐらい増える）、過去の実績から比べても急激な伸びと言えます。

それと同時に 90 年代以降は宅地開発が一段落するたびに増減率はゼロかマイナスになります。マイナスということは出生率が低いということと、転出する人が一定数いるということの意味します。大規模宅地開発は定着人口の増加に結びつくものではないことが示唆されます。

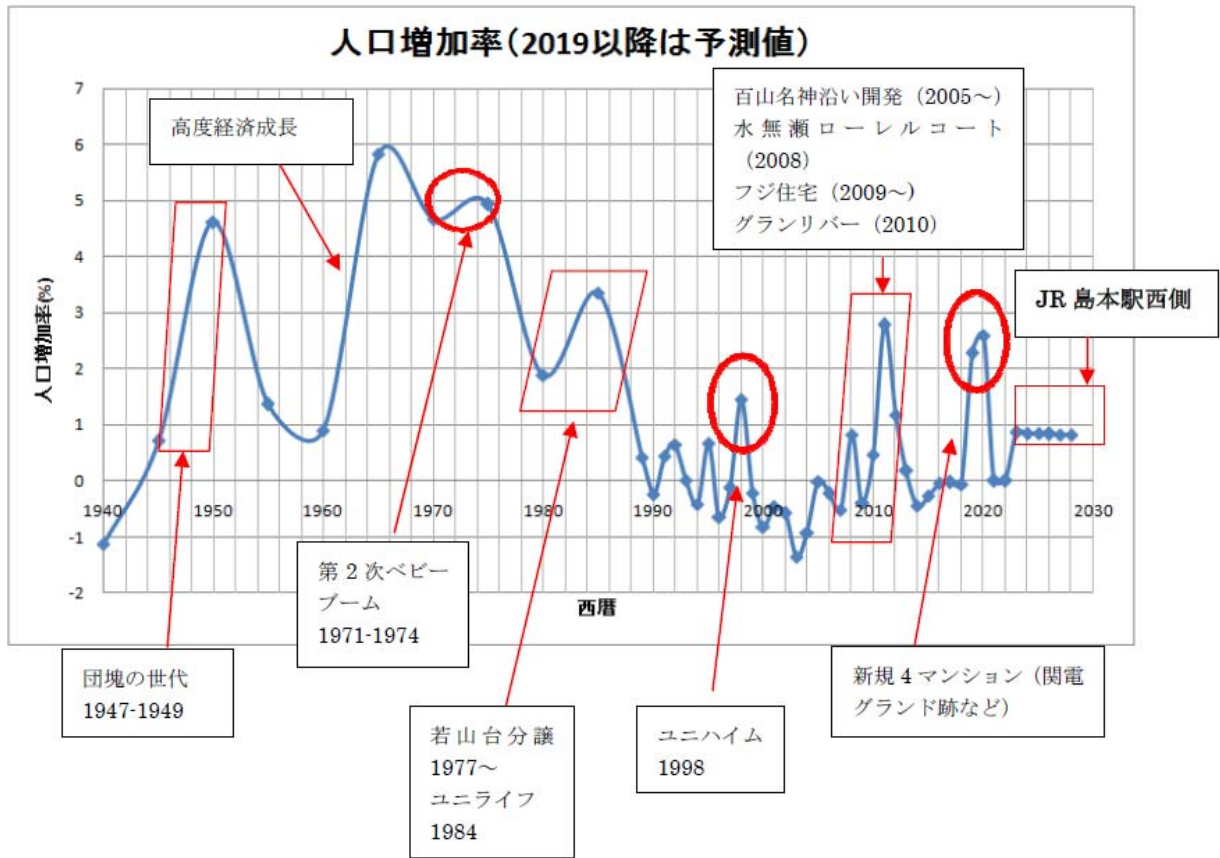
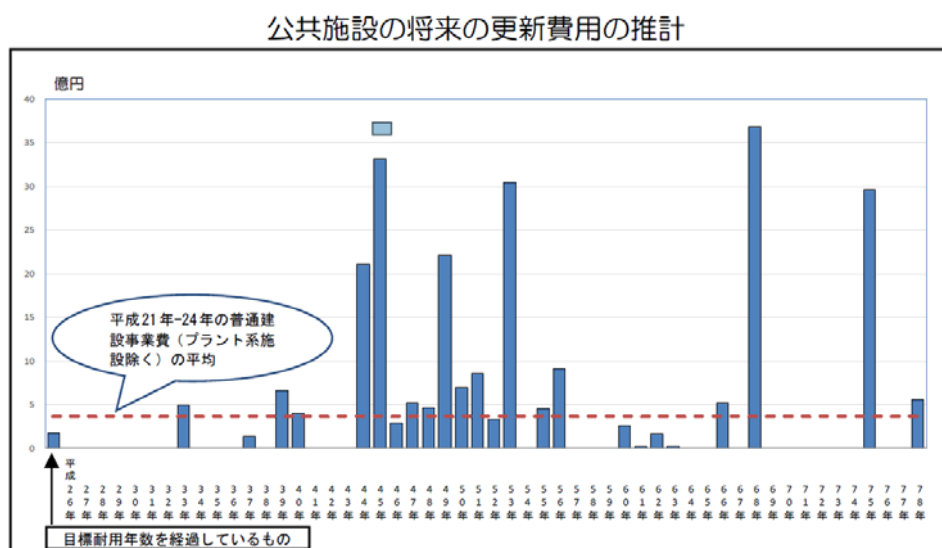


図3：前年対比による人口増加率

島本町人口ビジョンでは公共施設の更新費用の推計というのもあり(P32)、平成44年(2032)以降、たいへんな経費が必要になります。これはJR島本西地区の入居が一段落した後にあります。西地区開発に伴うインフラ整備のための公債の返還が発生すると共に、もしも財政需要が税収よりも高くなってしまうと苦しい財政になるでしょう。高齢化率は今後一直線に上がっていきます。島本町の65歳以上人口指数は2040年に148.8(2010を100とする)と予想されていますので扶助費もどんどん増えます。

JR島本西地区の開発を加味した財政シミュレーションが必要です。



資料：島本町公共施設適正化基本方針

まとめ

島本町人口ビジョンによると、

「社会増減に増して自然増減が人口の維持に影響が大きい。」(Page2)

と、正しく認識されています。

また年齢別の人口の増減も分析されており、データは省略しますが、

「特に減少が著しい10代後半は、進学などによる町外への転出、20歳代前半は就職、結婚が原因になっていると考えられます。」(Page11)

と、これもまた正しく認識されています。つまり、「住宅開発をすれば一時的に人口が増えるが、長い目で見れば人口減少を緩やかにするには若い世代に魅力ある町にするべきである」

という結論になります。

島本町人口ビジョンの結論は以下の通りです。

「そのためには、東京圏、北摂他市など京阪神に流れる人を食い止めるか、東京圏から北摂他市などの京阪神に流れる人を呼び込めるかが課題となります。また、出生数を増やすには子育て世代の絶対数を増やす必要があり、進学、就職、結婚時に島本町にとどまってもらえるよう、子育て世代が住みたくなるまちを目指すことが重要です。特に、若い世代において、結婚・出産・子育ての希望を実現できる環境を整えることが重要です。

このため、島本町の特性を生かし、住宅都市として安全に安心して暮らせる環境を充実することで転入促進を図ります。特に子育て世代については、子育て支援や教育環境の充実、雇用対策などに取り組むことで定住魅力を向上して転入を促進し、多様な世代が定住するバランスのとれた人口構造を目指します。また、次代を担っていく子どもたちが「このまちに生まれてよかった、住んでよかった」と思えるよう愛着と誇りの持てるまちづくりを進め、若い世代が定住する活力ある島本町の実現を目指します。」(Page34)

以上

参考文献

●島本町保育加速化方針

<http://www.shimamotocho.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/27/02%20houshin.hoi-kukibanseibikasoku.pdf>

●島本町人口ビジョン

http://www.shimamotocho.jp/gyousei/seisaku_keikaku_machidukuri/seisaku/1460616685020.html

●第4次島本町総合計画

http://www.shimamotocho.jp/gyousei/kakuka/sougouseisakubu_sintaisei/seisakukikaku-ka/sougoukeikaku/dai4ji_sougou_keikaku/1391675462125.html

●島本町人口推移

http://www.shimamotocho.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/30/toukeisyoH29_2.pdf